

# 令和3年度学校運営連絡協議会実施報告書

## 1 組織

(1) 都立上野高等学校 学校運営連絡協議会 (全日制課程)

(2) 事務局の構成 主幹教諭(総務部主任兼務)=事務局長、教務部員2名 計3名

(3) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭(教務主任兼務)、主幹教諭(生活指導担当)、主幹教諭(進路指導主任兼務)、主幹教諭(総務主任兼務) 計7名

(4) 協議委員の構成

学識経験者(学校法人事業本部長)、PTA会長、近隣中学校長、地域教育機関、地域有識者3名、同窓会副会長、 計8名

## 2 令和3年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会(第1～3回)の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和3年6月 文書開催 内部委員6名 協議委員6名

協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出

学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題

本校の現状と課題等説明、意見書回収

第2回 令和3年11月 文書開催 内部委員6名 協議委員6名

授業公開、これまでの教育活動に関する報告

協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、意見書回収

第3回 令和4年2月 文書開催 内部委員6名 協議委員4名

学校評価の報告及び学校運営に関する提言、協議

次年度に向けた方向性の確認 意見書回収

(2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

評価委員会については、広く評価について意見をうかがう趣旨で、協議委員全員に兼務をお願いすることとした。

第1回 令和3年6月 文書開催 内部委員6名 協議委員6名

評価委員の選出、学校評価の趣旨説明

第2回 令和3年11月 文書開催 内部委員6名 協議委員6名

学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察

第3回 令和4年2月 文書開催 内部委員6名 協議委員4名

学校評価アンケート中間まとめの報告、次年度の学校評価の実施に向けた内容検討

## 3 学校運営連絡協議会による学校評価(学校評価報告)

(1) 学校評価の観点

「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・1月 全校生徒 対象：943人 回収：930人 回収率：98.6%

・1月 保護者全員 対象：943人 回収：858人 回収率：91.0%

- ・1月 地域・住民 対象： 47人 回収： 47人 回収率： 100%
- ・1月 教職員 対象： 67人 回収： 65人 回収率： 97.0%

### (3) 主な評価項目

- ・※学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設

### (4) 評価結果の概要 (校長や学校全般への意見・提言内容)

- ・生徒については、教育活動の充実度、学校生活の満足度に対して8割以上が肯定的評価をしている。しかし、学習についての実感を持っていない者が昨年度より増加した。
- ・保護者については、生徒に比べると「わからない」の比率が高いが、健康・安全に対する指導については9割近くが肯定的な回答をしている。

### (5) 評価結果の分析・考察 (校長や学校全般への意見・提言)

- ・アンケート結果の分析からの課題をあげる。
  - ①生徒 ……学習についての実感を持っていない生徒がいること。特に1年生。
  - ②保護者……学校の様子がわからず不安に感じていること。特に2年生。
  - ③地域 ……地域への発信が不足していること。

## 4 学校運営連絡協議会の成果と課題 (学校の自己評価へ反映)

### (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・生徒のアンケート結果から、コロナ禍において学習についての実感を持っていない生徒の存在を認識し、学年と教科での検討が必要なが分かった。
- ・保護者のアンケート結果から、学習指導や行事など、コロナ禍でも教育活動が進んでいることをより積極的に伝えることが必要だと分かった。
- ・高等学校入学者選抜における男女緩和やICT技術の発達と教育の関係などについて、協議委員がどのように考えているか分かった。

### (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・近隣の住民は、学校の教育機能をより一層活用したいと望んでいることが分かった。
- ・地域の人材活用を一層推進するとともに公開講座等の拡大・充実が必要である。
- ・より適正な評価を行うためには、協議委員に対して、もっと情報提供すべきである。

## 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項 (学校経営計画へ反映)

### (1) 学校運営

- ・生徒・保護者に対して、機会あるたびに学校の教育方針を説明し理解を得る。
- ・生活指導については、今まで以上に保護者との連携を強化する。
- ・学期ごとに校内研修会を実施する。

### (2) 学習指導

- ・相互授業参観週間の設定、年次研修研究授業への参観等を通じて授業改善を行う。
- ・保護者との連携を強化し、家庭学習及び学習習慣の確立に努めていく。

### (3) 特別活動

- ・部活動や学校行事については、人間性を向上させるためになお一層力を入れて取り組む。
- ・リニューアルされたホームページの充実を推進し、情報発信を強化する。

### (4) 生活指導

- ・制服導入から学年が2回転し、理解・評価が得られている。遅刻指導や身だしなみ指導についても方針を示し指導の充実を図っている。生徒の安心安全の学校生活が送れるよう、いじめや問題行動が発生しない

よう実態把握（アンケート実施）や対応策を組織的に推進する。

(5) 進路指導

- ・進学アドバンス校として国公立大学、難関私立大学の進学実績の向上を図る。

(6) 健康・安全

- ・学校安全計画に基づき実施しているセーフティ教室、保健便りなどの啓発活動をより一層充実させる。
- ・様々な問題を抱える生徒への対応や支援について、今後も保健部や特支コーディネーター及びSCを中心とした組織的な対応を迅速に進めていく。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数5人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

　　そう思う　　2人

　　多少そう思う　2人

　　どちらとも言えない・あまりそう思わない・そう思わない　0人

　　分からない　1人

　　無回答　　0人

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】　　職員会議　0回　延0人　　企画調整会議　0回　延0人

【成果】

- ・委員の意見を参考に、文化祭において地域との交流機会を設け、連携強化を深めた。

8 その他

- ・保護者のアンケート回収率を更に高めるため、質問内容を含め検討の必要がある。
- ・評価精度の更なる向上のため、学校公開の機会を増やしていく。